

第3回 知立市野外彫刻プロムナード展 推進計画策定委員会 議事録

と き：平成 24 年 9 月 29 日（土）

午前 10 時～午後 0 時

ところ：知立市 中央公民館 中会議室

出席及び欠席委員

		氏名	備考	出欠
1	学識経験を有する者	宇納 一公	愛知教育大学 特別教授	○
2		野村 和弘	彫刻家	×
3		藤田 雅也	名古屋経済大学短期大学部 准教授	○
4	各種団体を代表する者	小林 佑自	野外彫刻プロムナード展振興運営委員会 委員長 知立ライオンズクラブ会員	○
5		近藤 鈴俊	ちりゅう芸術創造協会 理事長	○
6		風間 勝治	知立市商工会 副会長 知立市商店街連合会 会長	○
7		高須 昭宜	知立市文化協会 会長	○
オブザーバー		佐野奈津美	愛知教育大学 美術教育講座 彫刻研究室 4 年	○
		壺井杏里		○

1. あいさつ

○ 鈴木都市計画課長より、あいさつを行った。

2. 協議事項

○ 近藤委員より、計画の骨子（案）についてご提案いただいた。

○ 事務局より配布資料の説明を行った。

宇納委員長

近藤委員からの提案、事務局からの説明があったが、他の委員の皆さんからのご意見を出していただき、まとめていきたい。

高須委員

場所によってテーマを決めること、順を追ってやっていくことを明示することが必要と思う。

先日、文化協会の理事会でこのテーマを話したら、第2の観光資源をつくるべき、という話になった。大雑把に言って、知立にはかきつば

宇納委員長

た園しか観光資源がないが、大型観光バスが市内でもう一つ回ってくれるようなところをつくるべきである。毎年「かきつ姫」を上演しているパティオ池鯉鮒が、そういった資源となりうるのではないか、という話になった。

私も常々、知立市は観光バスがもっと止まってもいいのではないかと考えている。知立市には、他のまちには真似ができない財産がある。観光マップは沢山つくられているが、季節にならないと活用されない。松並木も一回限りで何度も行かない。

そういった意味では、知立駅のまちづくりには「新旧の文化の交差点に」といったスローガンが必要だと思う。

しかしそれを達成するには、彫刻を設置するだけでは無理だと思う。横断的な視野が必要であるという認識を持ちながら、施策の一つに彫刻設置がある、といった位置づけが必要である。

近藤委員が言われていたように、民話をテーマにした彫刻を設置して、市民に親しんでもらうといったことも考えられる。

もっとこのまちに住んでいる方々に積極的に提案を出してもらう機会をつくる必要がある。何かをやることになると、すぐ公共に期待してしまうが、地元から発案してもらって進めるという流れが、オリジナリティのあるまちづくりにつながる。文化協会には 1,800 人もの会員がいるので、アンケート等で意見を出してもらってはどうか。

愛知県の花でもあるかきつばたをもっと P R できるような、スローガンのようなものを出してもらってもよい。

高須委員

今回の計画（案）の中に、明治用水緑道は整備箇所に入っていないようだが。

事務局
(寒河井)

事務局の方で提示した資料では割愛してしまったが、近藤委員に提案していただいた「民話回廊」については、明治用水緑道でやるのが適当と思っている。

高須委員

場所場所でテーマが決まってくれば、作家としても作品がつくりやすいと思う。

藤田委員

前回からの議論で、野外彫刻プロムナード展や彫刻によるまちづくりはずっと継続していく、という大前提は確認できているので、今回の委員会では、その具体的な中身を明らかにしていく必要がある。

既存作品のメンテナンスや、作品の解説の充実等、2～3年でできることをリストアップしておきたい。

特に、宇納先生退官を転機として、来年度、再来年度から新たな体制で動き出していくためには、その推進体制を明らかにしておく必要がある。

新規作品の設置についてはいくつか候補が上がっているので、少しずつ進んではいるが、転機の時に、新たな作品を設置できることはいいことだと思うので、早い段階で具体的に進めていくべきと思う。

宇納委員長	市民に親しみのもてる内容にしていくためには、単に彫刻を設置するのではなく、市民参加による清掃イベントや、彫刻の素材を紹介する企画展等、単発でもいいので、色々な内容を一体で動かしていくようなプログラムを想定しておく、愛着度が大きく変わらと思う。 一つの流れをもって、今後のあり方を考えていくべきとのことだが、例えば彫刻の掃除についていうと、次回12月の委員会を待っていると、寒くなってしまう。すぐやれそうなことは、今年度試行してみて、実績をつくってみてはどうか。
小林委員	商工会館の周囲に、彫刻が設置されるとよい。またパティオ池鯉鮒にも、市民が目を引くような、シンボリックな作品があるとよい。 また小中学生の作品を公募して、賞を与えるようにするとよい。
風間委員	商工会の立場でいうと、商工会館周囲の彫刻設置については、ちょうど今、協議を始めたので、今後市や宇納先生に相談することになると思う。 今回の計画策定を経て、予算を拡大できるような方向に進めていければいいと思うが、財政の厳しい折なので、明治用水緑道での彫刻設置は長期展望であり、優先順位は低くなるのではないかなと思う。 短期的には、宇納先生の10数年のご努力によって、彫刻プロムナードが散歩みちとして利用されるようになった、その実績を、今後知立駅にまでつなげていくための方策を、充実させることが重要ではないか。商工会としても、皆さんのご理解を得る中で、協力していきたいと思っている。
藤田委員	知立市の状況では、作品自体に多くの予算をかけられないと思う。 個人的には、これまでプロムナード展に関わってきた作家の既存作品の中から選定した作品を、用意できる空間に併せて設置するとどういった配置計画が考えられるか、といったことを、具体的に詰めて話題にあげておくと、予算等の見通しもついていいのではないかなと思う。 委員会の中だけでは決めきれないと思うので、別途検討を進めて、可能であれば年度内に新たな作品の設置ができるといいと思う。
風間委員	商工会館の周囲は、都市計画課が管理している緑地なので、実際に彫刻を設置する際には協議する必要がある。周囲にシンボリックな作品を置こうという議論はまだ始まったばかりなので、それがまとまってから、市や先生に依頼をしていくのが筋と思うので、少々お待ちいただきたい。 また、商工会館の周囲に作品を設置するのであれば、その負担は商工会でする覚悟でいる。看板はお願いできればありがたいと思う。
佐野オブザーバー	彫刻を設置する目的は、市民にその場所に対する愛着を持ってもらうためだと思う。そこで、市民の生の声を聞く必要があると思い、市民が知立について、どのような点がアピールポイントだと思っているのか聞いてみたところ、知立には旧東海道がある、ということだった。

壺井ワザバー

プロムナード展が目の当たりにしている現実については、なかなか考えが深められなかったのだが、まちづくりの点では、旧東海道等の歴史を活かした親しみの持てる空間づくりが考えられると思う。

また彫刻ではないが、まちなかのベンチや街灯などのデザインについて、統一されたものを置いていくといったことは、美術が貢献できる分野だと思う。子どもたちとデザインについて検討することも考えられる。

宇納委員長

市民アンケートについては、可能であれば、次回の委員会までに内容や技法を精査したうえで、提案してほしい。

お金がなければ、ないなりに息の長い取組みと考えて、ある時にやればいいと思う。とはいえ、予算取りをしないと大きな改革はできないので、同時進行で進めていかなければならない。

私はこれまで、教育という視点から知立のまちを活用させてもらってきた。作品がその場所にふさわしいかどうかは、5年、10年、30年後に答えが出ればいいと思う。

個人的には身の丈に合ったものを身近なところに設置できるとよいと思う。もっと言うと、これまで彫刻というとシンボリックな空間に設置されてきたが、環境の悪い場所に敢えて置いて、作家にテーマを投げかけて、彫刻の力で変えてもらおうという方法もある。

作品設置の場所やテーマは予め決めておいてよいと思うが、素材や形状、耐久年数まで決めるのは、同時進行では難しいと思う。

作品の設置手法としては、台座だけ設置してしまって、後で設置する作品を選定するでもよいし、台座からつくり込むことも考えられる。

メンテナンスの観点から言えば、プロムナード展が15回目を迎えるにあたり、植栽や照明の配置について、パティオの敷地内も含めて再度検討することも考えられる。

近藤委員

市役所とパティオ、知立駅の3つの動線が浮かび上がってくるとよい。今、パティオ池鯉鮒は、改修が必要な時期に来ており、基本計画を策定中である。

水のパティオに藤田先生や、野村先生の作品を展示してもらってきたが、作品によっては、もっと市民の手に触れやすい場所、例えば駐車場などに設置したほうがいいのか、と思う作品もある。その他にも、彫刻を置ける場所がある。間瀬口川よりも表側の方が彫刻を設置する空間としてふさわしいのではないかと思う。

彫刻は息の長い事業なので、一つずつ地域のコンセプトを踏まえながら設置していくべきと思う。

藤田先生がやられた金山駅での彫刻設置事例は、市民参加によるものなので、非常に好ましいと思う。

宇納委員長

まだ全部は出し切れていないと思う。次の委員会の前までに、具体的

近藤委員

事務局
(鈴木課長)

な提案を事務局に出して欲しい。
彫刻の清掃については、11月にできるか調整する。多少の資金援助をしていただければと思う。
次回の会議では、資料や議題を少しでも早めに出していただければと思う。
次回は、1週間前には資料をお渡しできるようにしたい。
維持管理的なことは、現場に出向いて調査をし、今年度できること、来年度予算をつけてやるべきことを整理したいと思う。

以上